

令和 6 年 8 月 26 日

## **IT アスリート育成研修「ビジネスインサイトシリーズ(問い、仮説、価値創造の実践ラボ)」について**

JISA 人材委員会

8 月 22 日に開催されました JISA 人材委員会において、本年度の IT アスリート育成研修について、全 3 編で開催することが承認されました。現在募集しております、JISA IT アスリート育成研修 機会(解くべき課題)の特定編は、その第 1 編となります。

### **1. IT アスリート育成研修 ビジネスインサイトシリーズ (問い・仮説・価値創造の実践ラボ)」の概要**

生成 AI の急速な普及により、エンジニアに求められるスキルは大きく変化しています。経済産業省は「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方 2024<sup>1)</sup>」において、従来の課題解決型アプローチから、課題発見型アプローチへの転換を推奨しています。課題発見には、事実に基づいて「問いを立て」、新しい「仮説を立てて検証する」スキルが不可欠です。このスキルを強化することで、エンジニアの業務は受注開発から提案型ビジネスやコンサルティングへと拡大することが期待されます。

JISA では、このスキルを強化するために、IT アスリート育成研修「ビジネスインサイトシリーズ (問い・仮説・価値創造の実践ラボ)」を立ち上げます。受講生同士の交流と経験豊富なメンターのサポートを通じ、大学のゼミ室のように安心して学べる場を提供します。このシリーズは、「ISO56002 イノベーション活動プロセス<sup>ii)</sup>」に基づき、「機会 (解くべき課題) の特定編」を起点に「コンセプトの創造編」、「コンセプトの検証編」へと展開する全 3 編で構成しています。

<sup>1)</sup> 経済産業省 「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方 2024」

<https://www.meti.go.jp/press/2024/06/20240628006/20240628006.html>

<sup>ii)</sup> ISO「56002：イノベーション活動プロセス」イノベーションに取り組んだ世界各国の知見を普及するためにイノベーション・マネジメントシステムのフレームワークとして制定

### **2. 本研修の受講モデル**

未経験者の方は、「機会(解くべき課題)の特定編」、「コンセプトの創造編」、「コンセプトの検証編」の順に受講されることをお勧めいたします。一方、ISO56002 では価値創造のために何度か戻り、繰り返し取り組む必要があると説明しています。本研修でも、社内や顧客に価値ある提案が実践できるまで、どの編を何度でも受講して頂けるようデザインしています。また、同僚や部下などと一緒に受講すると、業務で実践し易くなります。

尚、「コンセプトの創造編」、「コンセプトの検証編」も本年度中に開催予定です。

### 3. 「機会（解くべき課題）の特定編」の概要

「問いを立てる」、「仮説を立て検証する」スキルを、観る・聴く・書く・伝えるという手順に分解し、課題発見型アプローチとして実践的に習得します。さらに、エスノグラフィに基づく観察や聴き取りによる事実の確認、生成 AI を活用する伝え方のブラッシュアップ、メンターによるアドバイスを通じて、ISO56002 に基づき、自ら「機会（解くべき課題）」を発見できる力を養います。

### 4. 募集対象

問いを立て、仮説を立て検証するスキルを習得し、顧客や社内の価値創造やビジネスチャンスの拡大に活用したいと考える方。

### 5. 前提条件

- ・ ZOOM によるオンライン講義に全 3 回参加可能であること。
- ・ Slack を利用して受講生と講師/メンターとのコミュニケーションが可能であること。

### 6. 募集人数

各回 50 名程度（JISA 会員企業に限る、1 社複数名可）

### 7. 講師

メイン講師：平田 貞代 先生（芝浦工業大学・東北大学）

メンタ： 浦野 隆好 様（ティッピングポイント株式会社 代表取締役）

河西 祐介 様（一般社団法人 REIONE 代表理事）

### 8. 参加費

無料

以上